RNAlater もどきの調製

RNAlater を購入すると高価なため、自作することでコストを抑えられる。出典は [De Wit et al. \(2012\)](#)。

必要なもの

- 1M クエン酸ナトリウム溶液 12.5mL
- 0.5M EDTA pH8.0 20mL
- 硫酸アンモニウム 350g
- SPW 467.5mL
- 濃硫酸 1mL または 1M 硫酸 18mL

手順

1. 硫酸アンモニウム 350g をビーカーで計量して SPW 350mL を加える（塊をある程度壊せば十分）
 - 1 の内容物を 1L ガラス瓶に移す
 - SPW 50mL でビーカーをすすいで 2 のガラス瓶に移す
 - 1M クエン酸ナトリウム溶液 12.5mL をガラス瓶に加える
 - 0.5M EDTA pH8.0 20mL をガラス瓶に加える
 - SPW 67.5mL をガラス瓶に加える
 - ガラス瓶を湯煎し、結晶を完全に溶かす
 - 濃硫酸 1mL または 1M 硫酸 18mL を加えて pH5.2 前後になっていることを確認する
 - オートクレーブ

硫酸アンモニウムと水の混合物は、100g + 100mL を 3 回と 50g + 50mL を 1 回に分けるとよい。結晶が溶け切っていない溶液をガラス瓶に移すときに結晶が残っても気にしなくてよい。ホットスターラーがあるならそれを用いてもよい。ビーカーやボトルでメスアップするときは、予めメスシリンダーで計量した水でビーカーやボトルの計量線を校正しておく。